

第1期始良市総合戦略の 効果検証

2015～2019

- 1 総合戦略とは
- 2 第1期始良市総合戦略の達成状況
- 3 第1期始良市総合戦略の効果検証
- 4 始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議等による効果検証

1. 始良市総合戦略とは

2014(平成26)年12月「まち・ひと・しごと創生法(以下「法」という。)」が成立し、日本全体が直面する人口の減少の克服、そして、地方創生という構造的な課題に対し、国全体として取り組むため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、東京一極集中に伴う地方の人口の減少により地域経済が縮小するという悪循環の解消のため、移住・定住や地域少子化対策を推進するとともに、地域の特性に即した課題の解決を図るなど、活力のある社会を維持することを目指している。

まち・ひと・しごとの創生のためには、国と地方が一体となり、中長期的な視点に立って取り組む必要があることから、法では地方自治体においても総合戦略を策定することを求めている。

そこで、本市においても2015(平成27)年度に庁内組織である「始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議」を設置。そして、地方創生を効果的・効率的に推進していくためには、住民、NPO、産業界、行政機関、教育機関、地域金融機関、労働団体、メディア(産官学金労言)等から構成される推進組織にて、広く関係者の意見が反映されることが重要であることから、同年に「始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を設け、多くの意見や提言を頂きながら審議を重ね、2016(平成28)年2月に本市の人口の将来展望を示した「始良市人口ビジョン」と人口の将来展望の実現を目指すための政策方針である「始良市総合戦略」を策定した。

始良市総合戦略では、2025年時点の人口目標を8万人とし、この目標を達成するべく4つの基本目標と、目標それぞれに対し計画期間内に達成する数値目標を掲げている。また、各基本目標の達成のために実施する具体的な施策に対しては、その成果を図る指標として重要業績指標(KPI¹)を設定し、各年度の進捗状況を確認すると共に、効果検証の結果に応じて事業手法の見直し等を行うというPDCAサイクル²を確立している。

¹ KPI : Key Performance Indicator の略称で、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

² PDCA サイクル : Plan・Do・Check・Action の略称で、Plan(計画)、DO(実行)、Ckeck(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に組み込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法

2. 第1期始良市総合戦略の達成状況(2015～2018実績及び2019実績見込)

◆評価の前提条件

総合戦略の進捗状況等の効果検証の目安として、各KPI（重要業績評価指標）において、「①目標指数」と「②達成度」を算出し、「③評価ランク」により客観的に評価するものとした。

① 各年度の目標指数

算出方法は、基準値と目標値の差を計画策定年度で按分して算出するものとする。

$$\text{算出式} : \{ (\text{目標値} - \text{基準値}) / 5 \text{年} \} \times \text{経過年数} = \text{目標指数}$$

② 達成度

各年度の目標指数と各年度の実績を比較し、目標指数への達成度を算出するものとする。

$$\text{算出式} : (\text{実績} / \text{目標指数}) \times 100 = \text{達成度}$$

KPIと令和元年度の実績見込みを比較し、第1期期間における最終達成度を算出するものとする。

$$\text{算出式} : (\text{実績見込} / \text{KPI}) \times 100 = \text{達成度}$$

③評価ランク

各年度の達成度及び最終達成度については、下表のとおり5段階の評価を行うものとする。

評価ランク表

評価ランク	評価基準
A	目標達成に向け、目標を上回る進捗（成果）である。 （目標指数の達成度が100以上の場合）
B	目標達成に向け、予定どおり進捗（達成）している。 （目標指数の達成度が90以上100未満の場合）
C	目標達成に向け、概ね予定どおり進捗（達成）している。 （目標指数の達成度が80以上90未満の場合）
D	目標達成に向け、改善や手段などを検討する必要がある。（達成していない） （目標指数の達成度が70以上80未満の場合）
E	目標達成に向け、改善や手段などを行う必要がある。（達成していない） （目標指数の達成度が70未満の場合）

評価例)

KPI	基準値 (H26)	目標値 (R1)	H30年度実績	R1年度実績 見込	評価	
					H30	最終
〇〇〇件数	100件	2,000件	1,550件	1,800件	A	B

◆H30年度を評価する場合（累計1,550件）

目標指数の算出： $\{(2,000-100) / 5\} \times 4 \text{年 (H27～H30)} = 1,520 \text{件}$

達成度の算出： $(1,550 / 1,520) \times 100 = 101 \dots$ よって、評価ランクA

Aランク 100以上

◆最終達成度を評価する場合（累計1,800件）

達成度の算出： $(1,800 / 2,000) \times 100 = 90 \dots$ よって、評価ランクB

Bランク 90以上～100未満

従って、このKPIについては、目標に対し「予定通り達成している」と評価する。

基本目標 1 働くなら“あいら”
地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる

数値目標 (R1)		H29 までの実績	評価	H30 年度実績	評価	R1 年度実績見込	評価	備考
5 年間の新規就業者数	9,000 人	累計 4,794 人	C	累計 6,491 人	C	累計 8,113 人	B	達成率 90.1%
参考：目標達成に向けた数値	年平均 1,800 人増	累計 5,400 人		累計 7,200 人		最終目標値 9,000 人		

※ふるさとハローワーク利用者による就業者数。

※R1 年度見込みについては、過去 4 年間の平均値により推計

(参考) 国分管内の有効求人倍率	(H27 年度) 0.83	(H28 年度) 1.03	(H29 年度) 1.26	(H30 年度) 1.31
------------------	---------------	---------------	---------------	---------------

施策 1 活力ある農林水産業の振興

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
認定農業者数	経営体	H26	83	103	85	95.0	C	89	99.0	C	97	103	B
林業就業者数	人	H26	65	77	53	72.2	D	52	74.6	E	52	77	E
漁業就業者数	人	H25	152	163	147	158.6	B	122	160.8	D	122	163	D
家族経営協定数	組	H26	35	45	40	41.0	B	38	43.0	C	40	45	C
集落営農法人化数	法人	H26	—	4	4	2.4	A	4	3.2	A	4	4	A
6 次産業化事業件数	件	H26	—	5	2	3.0	E	2	4.0	E	3	5	E

施策 2 まちの活力を育む商工業の振興

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
商工事業所数	事業所	H24	866	1,000	933	946.4	B	933	973.2	B	955	1,000	B
商業従事者数	人	H24	5,57	8,000	6,051	7,029	C	6,051	7,514	C	6,20	8,000	D
工業従事者数	人	H24	2,35	3,380	2,998	2,971	A	2,998	3,176	B	3,030	3,380	C
新規創業者数	人	H26	8	50	22	33.2	E	43	41.6	A	53	50	A
立地協定数	社	H26	12	28	21	21.6	B	30	24.8	A	33	28	A
空き店舗活用件数	件	H26	3	43	32	27.0	A	47	35.0	A	57	43	A
産官学金労言との協働事業件数	件	H26	—	10	12	6.0	A	20	8.0	A	20	10	A

施策 3 多様な就労機会の創出

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
ふるさとハローワークに おける就職率	%	H26	10.3	14.6	14.2	12.9	A	14.8	13.7	A	14.8	14.6	A
シルバー人材センター会員数	人	H26	646	800	702	738.4	B	734	769.2	B	757	800	B

基本目標 2 訪れるなら“あいら”

魅力あるまちをつくり、新しいひとの流れをつくる

数値目標 (R1)		H29 年度までの実績	評価	H30 年度実績	評価	R1 年度実績見込	評価	備考
5 年間の社会増	3,300 人	累計 1,799 人		累計 2,166 人		累計 2,700 人		達成率 81.8%
参考：目標達成に向けた数値	年平均 660 人増	累計 1,980 人	B	累計 2,640 人	C	最終目標値 3,300 人	C	

※鹿児島県毎月推計人口調査結果の社会動態

※R1 年度見込みについては、過去 4 年間の平均値により推計

施策 1 安全・安心に暮らせる環境と交通基盤の整備

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
普通救命受講者数/人口割	%	H26	10	20	12	16.0	D	16	18.0	C	17	20	C
自主防災組織率	%	H26	79	100	85.1	91.6	B	85.2	95.8	C	85.7	100	C
市内JR1日平均乗降者数	人	H26	10,913	13,000	10,856	12,165	C	—	12,583	—	—	13,000	—
コミュニティバス年間乗客数	人	H25	40,982	45,000	36,791	43,393	C	36,993	44,196	C	37,193	45,000	C

施策 2 魅力的な生活空間の整備

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
移住、定住等相談件数	件	H24	—	75	80	45.0	A	111	60.0	A	142	75	A
空き家バンク登録物件数	戸	H24	21	91	73	63.0	A	89	77.0	A	104	91	A
空き家バンク成約物件数	戸	H24	8	58	38	38.0	A	43	48.0	A	58	58	A
空き家リフォーム件数	件	H26	6	56	29	36.0	C	43	46.0	C	58	56	A
中山間地域への移住世帯数	世帯	H26	38	102	79	76.4	A	124	89.2	D	160	102	A

施策 3 地域の魅力と資源を活かした観光の振興

重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評価	H30 年度		評価	R1 年度見込		評価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
年間観光入込客数	人	H26	1,132,441	1,296,000	1,234,648	1,230,577	A	1,238,898	1,263,288	B	1,291,000	1,296,000	B
市内年間宿泊者数	人	H26	61,001	76,000	74,976	70,001	A	81,570	73,000	A	82,000	76,000	A
スポーツ合宿年勧誘客数	人	H26	1,952	2,050	2,654	2,011	A	1,452	2,030	D	1,700	2,050	C
プロスポーツ大会等年間誘致件数	人	H25	1	5	1.0	3.4	E	1.0	4.2	E	1.0	5.0	E

基本目標 3 子育てなら“あいら”
結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する

数値目標 (R1)		H29 年度 実績	評 価	H30 年度 実績	評 価	R1 年度 実績見込	評 価	備 考
5 年間の出生数	3,260 人	累計 1,978 人		累計 2,626 人		累計 3,282 人		達成率 100.7%
参考：目標達成に向けた数値	年平均 652 人増	累計 1,956 人	A	累計 2,608 人	A	最終目標値 3,260 人	A	

※鹿児島県毎月推計人口調査結果の自然動態

※R1 年度見込みについては、過去 4 年間の平均値により推計

(参考) 合計特殊出生率	(H25) 1.60	(H26) 1.62	(H27) 1.68	(H28) 1.73	(H29) 1.61
--------------	------------	------------	------------	------------	------------

施策 1 結婚・妊娠・出産・子育ての支援体制の整備

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値		目標値 (H31)	H29 年度まで		評 価	H30 年度		評 価	R1 年度見込		評 価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
妊婦歯科検診受診率	%	H26	—	50	45	30.0	A	48	40.0	A	48	50	B
乳児全戸訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）実施率	%	H26	96.2	100	95.6	97.7	B	94.8	99.2	B	95.0	100	B
乳幼児健診受診率	%	H26	95.6	100	95.7	97.4	B	96.2	99.1	B	96.5	100	B
子育て・保育サービス等年間相談件数	件	H26	3,048	5,450	4,251	4,489	B	5,087	4,970	A	5,450	5,450	A

施策 2 子育てを支援するための環境整備

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評 価	H30 年度		評 価	R1 年度見込		評 価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
認定こども園・認可保育所年間入所者数	人	H26	1,434	2,384	2,255	2,004	A	2,274	2,194	A	2,300	2,834	B
待機児童数	人	H26	31	0	39	12.4	E	62	6.2	E	95	0	E
病児保育施設登録児童数	人	H26	192	300	354	256.8	A	296	278.4	A	300	300	A
放課後児童クラブ登録利用児童数	人	H26	655	850	901	772.0	A	951	811.0	A	1,000	850	A
一時預かり保育年間利用者数	人	H26	537	3,500	3,789	2,315	A	5,673	2,907	A	5,673	3,500	A
ファミリーサポートセンター会員数	人	H26	603	750	674	691.2	B	634	720.6	C	700	750	B
地域子育て支援センター年間利用者	人	H26	33,388	50,000	31,606	43,355	D	30,601	46,677	E	35,000	50,000	D

施策 3 自立を育むための市民総ぐるみによる協働の子育て

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評 価	H30 年度		評 価	R1 年度見込		評 価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
小・中学生の毎朝の朝食摂取率	%	H26	95	100	94.7	98.0	B	94.9	99.0	B	95	100	B
小・中学生の地域行事への参加率	%	H26	小学生 70	小学生 75	61.5	73.0	C	62.1	74.0	C	70	75	B
			中学生 42	中学生 50	42.8	46.8	B	37.8	48.4	D	43	50	C

基本目標 4 住むなら“あいら”

生涯すこやかで、いきいきと暮らし、支え合える地域をつくる

数値目標 (R1)		H29 年度 実績	評 価	H30 年度 実績	評 価	R1 年度 見込	評 価	備 考
令和元年の住民基本台帳人口	77,500 人	76,909 人	B	77,310 人	A	77,379 人	B	達成率 99.8%
参考：目標達成に向けた数値	年平均 277 人増	76,945 人		77,222 人		77,500 人		

※各年度 10 月 1 日現在 (参考：H26.10.1 現在 76,114 人)

※R1 年度については 5 月 1 日現在

施策 1 いきいきと暮らせる健康づくり、地域づくりの推進

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評 価	H30 年度		評 価	R1 年度見込		評 価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
特定健診受診率	%	H25	48.5	60	50.1	55.4	B	49.8	57.7	C	52	60	C
緊急通報装置登録件数	件	H26	303	400	280	361.2	D	273	380.6	D	300	400	D
認知症サポーター数	人	H26	4,196	7,000	8,404	6,778	A	9,248	8,999	A	9,700	10,200	B

施策 2 活力あるコミュニティ活動、市民活動の推進

重要業績評価指標 (KPI)	単 位	基準値		目標値 (R1)	H29 年度まで		評 価	H30 年度		評 価	R1 年度見込		評 価
					実績	目標指数		実績	目標指数		実績	目標値	
校区コミュニティ協議会設置率	%	H26	—	100	100	H 27 達成	100	H 27 達成	100	H 27 達成	100	H 27 達成	
まちづくりプラン策定数	件	H26	—	17	15	6.8	A	15	13.6	A	17	17	A
生涯学習講座等年間参加者	人	H26	2,757	3,100	2,727	3,043	C	2,732	3071.4	C	2,800	3,100	B
生涯スポーツ年間参加者数	人	H26	9,393	13,000	11,189	11,557	B	12,482	12,279	A	13,000	13,000	A

施策 3 連携中枢都市圏構想等、広域的な連携の構築

かごしま連携中枢都市圏の構築 (本市、鹿児島市、日置市、いちき串木野市) H29.1.19 連携協約の締結	H28 達成
---	--------

3. 第1期始良市総合戦略の効果検証

第1期始良市総合戦略については、2010（平成22）年の国勢調査を元に国立社会問題・人口問題研究所が推計した人口予測によると2060年には5万2千人（現在の7割以下）にまで減少すると予測されたことから、人口減少が及ぼす社会的影響を回避するため、早期に人口対策に取り組む必要があることから策定され、始良市人口ビジョンにて独自推計した人口の将来展望を実現することが目的となっている。

そのために、4つの基本目標を設定し、計画期間中に達成すべき成果を数値目標として設定している。また、基本目標を達成するための具体的施策に対しては事業の進捗を図る指標としてKPIを設定し、事業実施の状況、目標達成のための手段の改善について検証してきた。

基本目標の達成状況

<p>◆基本目標1 地域資源を活かした活力ある産業、雇用をつくる ～働くなら“あいら”～</p> <p>【数値目標】5年間の新規就業者数 9,000人 【達成状況】8,113人 【達成率】 <u>90.1%</u></p>		<table border="1"> <tr><td>評価ランク</td></tr> <tr><td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	評価ランク	B
評価ランク				
B				
<p>◆基本目標2 魅力あるまちをつくり、新しいひとの流れをつくる ～訪れるなら“あいら”～</p> <p>【数値目標】5年間の社会増 3,300人 【達成状況】2,700人 【達成率】 <u>81.8%</u></p>		<table border="1"> <tr><td>評価ランク</td></tr> <tr><td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td></tr> </table>	評価ランク	C
評価ランク				
C				
<p>◆基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する ～子育てなら“あいら”～</p> <p>【数値目標】5年間の出生数 3,260人 【達成状況】3,282人 【達成率】 <u>100.7%</u></p>		<table border="1"> <tr><td>評価ランク</td></tr> <tr><td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td></tr> </table>	評価ランク	A
評価ランク				
A				
<p>◆基本目標4 生涯健やかで、いきいきと暮らし、支え合える地域をつくる ～住むなら“あいら”～</p> <p>【数値目標】令和元年の住民基本台帳人口 77,500人 【達成状況】77,379人 【達成率】 <u>99.8%</u></p>		<table border="1"> <tr><td>評価ランク</td></tr> <tr><td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	評価ランク	B
評価ランク				
B				

目標とした人口や出生数については達成の見込みがあるものの、人口増加の主要な要因である「社会増」については、目標を達成していない。これは、子育て世代の転入が多いという従来からの傾向が続いていることであり、新たな人の流れを生み出してはいない。また、新規就業者についても、始良ふるさとハローワークにおける就職者に限定しているとはいえ、目標を下回っており、また、近年の有効求人倍率の高さから、雇用と求職のミスマッチが生じている事が明らかとなっている。

本市への転入者については、2018（平成30）年の移動データによると全転入者3,839人のうち、県内からの転入者が2,723人と71%を占めており、その中でも鹿児島市から1,032人、霧島市から605人となるなど、近隣都市のベッドタウン化の傾向が続いている。その鹿児島市や霧島市を含め県全体の人口は減少傾向にあることから、今後、社会増を見据えた人口増を図るためには、大都市圏を含めた広域的な人の流れを形成していく必要があり、移住・定住の前段階として「関係人口」の増加に向けた取組も必要である。

以上のことから、第1期総合戦略については、計画期間における目標人口の達成に至って

いることから、人口対策施策としては一定の効果があったと考える。

そして、第2期始良市総合戦略の策定にあたっては、これまでの取組を継続又は強化するだけでなく、増加が見込まれる在住外国人に関する取組や関係人口の創出など新たな人の流れを拡大する施策の取組が必要である。併せて、本市が居住地としての魅力を感じられる取組、市の内外に発信する「まちのブランディング」にも取り組む必要がある。

具体的施策のKPIの達成状況

第1期始良市総合戦略において設定した全50のKPIのうち、達成度Aは20であり、予定通り達成しているとの評価であるBが13、概ね達成のCが9となっており、全体の8割以上で達成している。これは、PDCAサイクルによる進捗管理、事業手法の見直し等を行ってきた結果であり、全体的にはおおむね達成できたものと評価する。

しかし、評価が高い指標の中には計画期間の早期に目標を達成している指標もあることから、第2期総合戦略の策定の際には、選定しようとする指標が「活動指標」なのか、或いは「成果指標」なのか明確にすると共に、施策の定義に沿った性質の指標を設定する必要がある。また、目標値の設定にあたっては、第2次始良市総合計画及び各個別計画との整合性を確保することとする。

◆KPI達成状況（基本目標、施策単位）

基本目標	施策	A (割合)	B (割合)	C (割合)	D (割合)	E (割合)	総計
働くなら あいら	活力ある農林水産業の振興	1	1	1	1	2	6
		16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%
	まちの活力を育む商工業の振興	4	1	1	1	0	7
		57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
	多様な就労機会の創出	1	1	0	0	0	2
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	基本目標小計	6	3	2	2	2	15
		40.0%	20.0%	13.3%	13.3%	13.3%	100.0%
訪れるなら あいら	安全・安心に暮らせる環境と交通基盤の整備	0	0	4	0	0	4
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	魅力的な生活空間の整備	5	0	0	0	0	5
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	地域の魅力と資源を活かした観光の振興	1	1	1	0	1	4
25.0%		25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%	
	基本目標小計	6	1	5	0	1	13
		46.2%	7.7%	38.5%	0.0%	7.7%	100.0%
子育てなら あいら	結婚・妊娠・出産・子育ての支援体制の整備	1	3	0	0	0	4
		25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	子育てを支援するための環境整備	3	2	0	1	1	7
		42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	100.0%
	自立を育むための市民総ぐるみによる協働の子育て	0	2	1	0	0	3
0.0%		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	基本目標小計	4	7	1	1	1	14
		28.6%	50.0%	7.1%	7.1%	7.1%	100.0%
住むなら あいら	いきいきと暮らせる健康づくり、地域づくりの推進	0	1	1	1	0	3
		0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
	活力あるコミュニティ活動、市民活動の推進	3	1	0	0	0	4
		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	連携中枢都市圏構想等、広域的な連携の推進	1	0	0	0	0	1
100.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	基本目標小計	4	2	1	1	0	8
		50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
総合計		20	13	9	4	4	50
		40.0%	26.0%	18.0%	8.0%	8.0%	100.0%

4 始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議等における評価

始良市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議での評価

『人口対策施策として一定の効果をあげたとする庁内検証結果を了承する。』

◆主な意見

- ・若い方々が始良市に残って働き続けることが大事
- ・空き家対策として、新たな空き家を生み出さない取組も必要
- ・始良市への転入者は確かに多いが、何故始良市を選んでいるのか把握する、分析することも必要ではないか
- ・新たな地域課題として、外国人との共生社会の構築がある
- ・今後も外国人が増加する可能性があり、国籍も多様化している。今後の変化について注視する必要がある。

始良市議会への報告

令和元年7月22日 始良市議会全員協議会にて報告